

第44回栃木県トラック安全運転競技会【講評】

コロナ禍ということもあり大幅に人員を減らしての大会となりましたが、参加事業者様、及び選手の皆さまのご協力もあり無事に競技会を終えることが出来ました。

今大会の講評ですが学科競技に関しては高得点の選手も多く見られ法令等に対する習熟度の高さが伺えましたが、駐停車に関する問題で誤りが多く見られました。職業上路上駐車するケースが多いため正確な理解をお願い出来ればと思います。

運転競技については4トン11トンとも発進・降車時の安全確認が不十分な選手が多く見られ、隘路については次のスラロームに気を取られリヤのオーバーハングに引っかけるケース見られました。スラロームについては接触もほぼ見られず各選手の運転技能の高さが確認されました。車庫入れについては停止線手前80センチメートルの位置が指定停止距離でしたが、多くの選手が目測+50センチメートルの以上の位置で停止する結果となりました。側方距離についてはほぼ全選手が減点なしという正確さでした。

点検に関して今回は分かりやすく溝の深さが十分でないタイヤをフロントタイヤ2本に装着し、左側のホイールナット1カ所を緩ませておりましたが半数の選手が見落とす結果となりました。運行前には必ず行う日常点検ですので小さな見落としが重大事故に繋がるケースが有りますので各ドライバー様にご指導頂ければと思います

今大会に参加されました選手の皆さま、お疲れ様でした。10月に予定されている全国大会に参加される選手の皆さまは栃木県の代表として健闘される事を祈って今大会の講評とさせていただきます。